



ガチャックの歴史

Teacher MのQ&A 07



今回は当社の代表的な商品である「ガチャック」について歴史も含めてお話させていただきます。



「連射式クリップ」という言葉からみなさんはどんな商品を想像されますか？
では「ガチャック」ならどうでしょう？「あ～、あれね！」と思う方もいるかと思いますが。

商品名の由来は、実際に紙を綴じたときに「ガチャッ!!」という音があるので「ガチャック」という名になったそうです。なんともストレートな名前ですね。

そもそもガチャックの始まりは1980年に町の発明家・佐藤氏からの持ち込みでした。その当時、佐藤氏は何社かにガチャックのアイデアを売り込んでいましたが、他社では決裁まで至らず、オートが即決した事から始まりました。

発売当初の5年間は苦戦。一般ユーザーにとって、全く馴染みのない商品ということもあり、店頭で全く売れず在庫は膨らむばかり…。

ここで発想の転換期が来ました。「とにかく、使ってもらって便利さをわかってもらえない…」と考え、名入れ代のみで本体を配るキャンペーンを実施しました。内容は納品店様の名前をガチャック本体に印刷し、のし箱に入れ、年始の手土産として使用していただきました。

なんと、これが大成功!! 注文が30万個も舞い込み、大晦日でも間に合わず、1月2日、3日も社員総出で年始に間に合わせました。翌年も実施し、計60万個の本体をバラまいた結果、ガチャ玉の売り上げが急上昇!! 本体も売れるようになり、やっと定着しました。

今度はユーザーから「もっと大きいものを…」「もっとコンパクトなもの…」など、様々な要望が寄せられました。そこで1990年にデザインを一新し、第2世代の「大・中・小ガチャック」発売に至り、今日の「ガチャック」の地位を築き上げました。

その後も、10発入りの玉がワンタッチで装填できる「カートリッジガチャック」や、環境対応の「紙ガチャ玉」、「エコプラ玉」など新しいアイテムを発売し、現在に至っています。

今回は当手を振り返り、サンプル作戦(カートリッジガチャック)、ガチャックサービスキャンペーンを別紙にして企画しております。この機会にぜひお試しください。



▲初代ガチャック

▼カートリッジガチャック

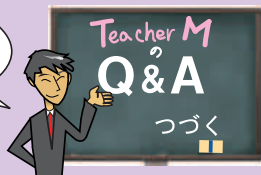


▲紙ガチャ玉入りエコガチャック



▲(上左から)カラーガチャ玉/エコプラガチャ玉
(下左から)紙ガチャ玉/ガチャ玉パステル

オートニュースで採り上げてほしい
内容、質問がございましたら東京支店・
宮澤までお問合せ下さい。



OHTO オート株式会社

本社・東京支店 〒111-0051 東京都台東区蔵前4-5-9 ☎ 03-3861-8941 e-mail: tokyo-br@ohto.co.jp
札幌営業所 〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目4-1 オフィス大通7F ☎ 011-221-5771 e-mail: sapporo-br@ohto.co.jp
名古屋営業所 〒460-0008 名古屋市中区栄5-18-11 丸善ビル5F ☎ 052-251-4690 e-mail: nagoya-br@ohto.co.jp
大阪支店 〒564-0063 吹田市江坂町1-10-1 ニフコ大阪ビル1F ☎ 06-4861-2291 e-mail: osaka-br@ohto.co.jp
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅前1-10-5 第二博多館ビル204号 ☎ 092-473-9010 e-mail: fukuoka-br@ohto.co.jp
商 事 課 〒111-0051 東京都台東区蔵前4-5-9 ☎ 03-3861-8620 e-mail: syoji@ohto.co.jp
ホームページアドレス <http://www.ohto.co.jp>